



調印式では固い握手で協力を誓いました。左から小山高史手稲区長、
西安信北海道工業大学学長、櫻井幸夫手稲区連合町内会連絡協議会会長

地域と連携したまちづくりを進める手稲区では、このほど北海道工業大学と手稲区連合町内会連絡協議会の三者間で「地域連携協定」を締結。地域に根ざした活動をこれまでも行ってきた同大学と、今後は安全・安心の推進や生涯学習、青少年育成に関することなどの分野でさらに緊密な連携を図っていくことになりました。

大学と手を携えて、ふるさと手稲づくり

北海道工業大学、手稲区連合町内会連絡協議会、手稲区が「地域連携協定」を締結!!

この協定により、地域社会への貢献や人材育成を掲げる北海道工業大学には、学生の社会体験や研究活動の場を得る機会が提供されることになり、また地域や区にとっては、まちづくり活動に学生の若い自由な発想や、行動力で地域が活性化されることなどが期待されています。

3月18日(火)に同大学で行われた調印式では、関係者も大勢出席する中、三者の代表者が協定書を取り交わしました。協定が結ばれたことを櫻井会長は、「私たちにとっては何よりも心強い味方ができました」と喜び、西学長も「これにより、さらに愛される大学を目指します」と力強く抱負を語っていました。

協定締結へと繋がった これまでの取り組み

● ていね夏あかり

8千個を超える手作りちょうちゃんが夜を彩る「ていね夏あかり」。学生が指導を行い、子どもから高齢者まで簡単に作れるちょうちゃんを通して、学生と地域が交流を深めています。平成19年度の「北のまちづくり賞」北海道知事賞を受賞し、まちづくり活動のモ

デル的取り組みとして高い評価を得ています。



学生が子どもたちにちょうちゃん作りを教えます

● 山岳救助隊

山岳部に所属する学生が、手稲消防団に入団し、全国初となる消防団山岳救助隊が発足しました。山岳部で培った経験を生かし、手稲山などで遭難者やスキー場の行方不明者が出た場合に、救助にあたるため、定期的に実地訓練などを行っています。



制服に身を包み、決意を新たにす学生たち

● 前田地区のお宝探し

地域ぐるみでまちの魅力「お宝」を見つめ直し、次代の子どもたちに繋げていこうと、前田地区の町内会や地域の団体代表者らで企画している「前田の宝さがし」事業に

も、地区内にある大学の学生として運営に携わっています。前田の良いところをみつけるため、中学生との意見交換会を開催したりと中心となって活動しています。



学生が中心となって中学生と一緒に前田の良いところ探し

● ストップ・ザ・不法投棄

富丘西宮の沢地区では地域が主体となり不法投棄対策に取り組んでいます。この取り組みを発展させるために地域が開いた「ストップ・ザ・不法投棄」の会合では、同大学でこの問題を研究する椎野亜紀夫准教授が「ごみ問題とその対策」と題して講演を行い、さらに椎野ゼミの学生を加えて地域住民と対策などについて議論が交わされました。

このように地域に解け込んでいる北海道工業大学。今後手稲区では、三者が連携し「愛着と誇りの持てるまちづくり」を進めていきます。